

ワークショップ1

今さら聞けない?! ポートフォリオの作成と指導

— 苦手領域を得意にチェンジしたい —

Director 中井秀一（ハーモニッククリニック）

2016年の関東甲信越地方会のポートフォリオワークショップに参加した指導医のアンケートでは、ポートフォリオ作成指導を受けたことがない（30%）、添削レクチャーを受けたことがない（46%）、ポートフォリオ指導で困っていることがある（46%）という結果が得られました。指導医の困っている内容として、そもそも知識不足、コアコンピテンシーの指導のポイントが不明などの声がありました。専攻医のアンケートでは、参加者のほぼ全員が作成に困っており、症例、事例の選択が困難だとの意見を得ました。

苦手なエントリーとして、専攻医、指導医ともにベスト3が「研究」、「地域包括ケア」、「施設管理運営」という全く同じ結果となりました。

このワークショップでは、これらの意見を元に、基本的なポートフォリオの書き方を学び、そのうえで指導に何が必要かを明らかにし、より価値あるポートフォリオの作成と指導につなげることを目標とします。苦手エントリーは、テーブルワークを通して対処方法を一緒に学びたいと思います。

まだ専攻医がいないという指導医の方、今まで十分なポートフォリオ作成の指導を受けたことがない指導医の方を主な対象にしていますが、ベテラン指導医や未来の指導医である専攻医の方の参加も大歓迎です。

当日は講師として喜瀬守人先生（家庭医療学開発センター プログラム責任者）をお招きしご講演、ワークでのご指導頂きますので、どうぞお楽しみにしてください。

またワークでは皆さんもポートフォリオを参考にしたいと思います。作成指導受けていない指導医の先生にとっても意見をもらえる貴重な場となり、専攻医の先生であれば作りかけのポートフォリオをブラッシュアップする場にもなります。

アクセス良好のさいたまの地で、この機会に埼玉でポートフォリオ指導を行っている指導医達と一緒にポートフォリオの学びを深めましょう！是非気軽にご参加ください。

ワークショップ2

トリアージ・タグの付け方

Director 坪井謙（さいたま市民医療センター 救急総合診療科）

阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震などの地震や台風、豪雨による水害など、日本では多くの自然災害が発生している。医師としてそういった災害現場に行くことやそこから患者を受け入れすることが今後あるかもしれない。トリアージ・タグは災害時にその現場や病院に多数傷病者が訪れた時に使用される共通の情報ツールである。しかし、トリアージ・タグを实际書いたり、つけたりする経験は少ない。今回このワークショップではなかなか实际体験できない START 法を用いたトリアージを体験してもらい、トリアージ・タグをに記載をしてもらおう。災害時のプライマリ・ケアの最前線での活動を体験してみてもいいだろうか？

ワークショップ3

1人1台 エコーは第2の聴診器（医師対象）

Director 小林只（弘前大学 総合診療部）

パソコン機器類が「デスクトップ→ノートパソコン→スマートフォン（スマホ）」と進歩し、あなたが生活で自然と使い分けているように、エコーも「検査室の設置型→ノートパソコン型の外来の移動式→携帯型のポケットエコー」と同じ道を歩んでいます。エコー機器は、薬事法上は電子体温計や電子血圧計と同じ分類で、誰もが使用できる道具です。そして、小型・安価・高精度の機器開発を伴い、エコーは医療者の第2聴診器になりつつあります。その活用の価値は、検査ではなく、身体診察の一部にあります。

今回は、大衆化する医療機器の1つとしてのエコーが社会に与える影響を概説した後、同日に開催しています看護師が活用する「判断」と「共有」のためのポケットエコーの活用方法と医療現場に与える影響を体験頂きます。さらに、医師の診察道具としてのエコーの多様な活用方法（例：眼球・眼振、肺炎・心不全、座位での腹部エコー、経鼻胃管、嚥下・サルコペニア、運動器）を、参加者の需要に応じて、各社ポケットエコーとノートパソコン型エコーなどを比較活用しながらのハンズオンセミナーを実施します。

ワークショップ4

その心電図モニター管理、本当に安全ですか？ ～MACT活動による安全環境の獲得～

Director 富田晴樹（さいたま市民医療センター 看護部）

心電図モニターは患者の生体情報を得るためのツールとして広く使用されていますが、適切な教育はなされておらず、個々の経験や施設の慣習で管理されているのが実状です。鳴り続けるアラームは医療現場にの過大なストレスを与え、“アラーム疲労”と呼ばれる状況に至りました。これは、偽アラームや、不適切なアラーム設定によりアラーム音が環境音化してしまい、ひいてはアラームを無視してしまう状態です。モニター関連の死亡事故報道は10年間で30件以上報告されていますが、悲惨な事故の教訓が活かされているとはいえません。

こうした状況を根本的に解決ために、多職種で構成する Monitor alarm control team (MACT) が注目されています。今や MACT 活動は医療安全管理の視点から不可欠な組織であり、モニターを扱う全ての医療機関で取り組む必要があります。職種に関わらず、モニターに接する全てのスタッフが理解しなければなりません。

このワークショップでは、モニター事故を疑似体験し、モニター管理を根本から考え直す「目からウロコ」の企画を用意しました。我々が蓄積したノウハウの中から特に役立つ内容を厳選し、惜しみなく出しきります。参加者それぞれの施設で行えるモニターの安全管理を共に考えましょう！

ワークショップ5

チーム医療のクリニカル・パール

Director 石井彰（自治医科大学さいたま医療センター 総合医学1）

プライマリ・ケアでは、多職種が関わる業務の中にも、様々なクリニカル・パールが存在すると思われる。これらを多職種でシェアすることによって、職種間の相互理解が深まり、患者さんの診療にもプラスになるでしょう。

明日から使える実践的で実りの多いワークショップを目指します。

実際の診療活動を実践しながらの学びには、先輩の「うまい一言」がとても役立ちます。

クリニカルパールズは、「臨床の知識と経験に裏打ちされた、現場での診療・診断・治療に役立つ格言のようなもの」と言われています。パールの魅力は、心惹かれ、記憶しやす

く、日々の診療場面で役立つことです。

プライマリ・ケアの領域では職種ごとだけでなく、同じ職種でも在宅や病院、外来や入院、予防や治療など様々な分野があります。そこで語られているクリニカルパールズを多職種間で理解することや、多職種連携に関わるクリニカルパールズをお互いに知ることは、明日からの診療の実践やチーム医療に大いに役立つことでしょう。

ワーウショップでは、事前に集まったクリニカルパールの「胆（きも）」を参加者で紹介し合いながら、理解を深めていきたいと考えています。短時間のグループワークも行います。

参加人数が限られているため、当日には参加できない方からも広くクリニカルパールズを募集します。「へ～」と感嘆するような話がたくさん出てくるように、盛り上げていきたいと思えます。ご応募お待ちしております。

ワークショップ6

ポケットエコーMirucoによるPELSセミナー体験版

～ 膀胱・体液管理～（看護師対象）

Director 小林只（弘前大学 総合診療部）

パソコン機器類が「デスクトップ→ノートパソコン→スマートフォン（スマホ）」と進歩し、あなたが生活で自然と使い分けているように、エコーも「検査室の設置型→外来の移動式→ポケットエコー」と同じ道を歩んでいます。エコー機器は、薬事法上は電子体温計や電子血圧計と同じ分類で、誰もが使用できる道具です。そして、小型・安価・高精度の機器開発を伴い、ポケットエコーはスマホの如く誰もが1人1台使う道具になりつつあります。その活用の価値は、精密検査ではなく、「判断」や「共有」にあります。

今回は、ヘルスケア人材育成協会認証のエコー教育コース（Pocket-echo life support : PELS）膀胱編の一部を、教育用のテキスト、膀胱シミュレータ、楽々フォンのような操作性を実現した超低価格ポケットエコー Miruco（日本シグマックス社）を用いて体験頂きます。初学者にも分かりやすい膀胱エコーの基本（例：プローブの持ち方、エコー画像の見方、計測いらずの膀胱容量判断トレーニング）、そして病棟から在宅・院外で即役立つ「判断」の使い方（例：膀胱バルーン管理、補液速度調整、夜間転倒減少目的の就寝前膀胱エコー）、さらに「共有」の使い方（例：患者家族の負担の軽減と安心感の享受）を、学習します。

ワークショップ7

ポリファーマシーに IPW(多職種連携)の力を！

Director 松林洋志 (ハーモニッククリニック)

自分一人の力だけではなかなか解決困難な難題、ポリファーマシー。日々の診療の中でポリファーマシーに悩んでいる医師・薬剤師・看護師、その他あらゆる職種の方々のためのワークショップです。処方薬が10剤を超えるハイパーポリファーマシーの一例を共有し、解決するためのアクションプランを作成します。「ワールドカフェ」と呼ばれるグループワーク方式により、まるでその場に集まった全員と意見交換をしたかのような満足感を得て頂きます。ここでしか得られない様々な気づきや学びを沢山持ち帰って、明日からの診療に活かしませんか？各テーブルにワールドカフェに習熟したファシリテーターを配置致しますので、初めての方でもリラックスして楽しめます。自らポリファーマシー外来を新設し牽引されている栃木医療センター矢吹拓先生による魅力的なオープニングレクチャーも必見です！奮ってご参加下さい！